

## (財)日本ユニセフ協会佐賀県支部通信 第15号 2007年11月

事務所：〒840-0054 佐賀市水ヶ江4丁目2-2 TEL/FAX 0952-28-2077

e-mail [unicef-saga@ams.odn.ne.jp](mailto:unicef-saga@ams.odn.ne.jp)

URL <http://www2.odn.jp/unicef-saga/>

\$\$\$ 支部通信はホームページでもご覧いただけます

# 栄養不良は子どもの死亡主要因のひとつ

世界食料デーに際して

【2007年10月16日 ニューヨーク発】

「世界人権宣言」において、すべての人は食料を得る権利があると宣言されてからおよそ**60**年。ユニセフは**2007**年世界食料デーに際し、「いまだ子どもの死亡のほぼ半数が栄養不良に起因しているという事実は受け入れがたい」と述べた。

世界食料デーは、世界の飢餓と栄養不良の問題に焦点を当てている。今年のテーマは「食料を得る権利」。ユニセフの支援は栄養不良の問題に対して「予防」と「治療」という二方向からのアプローチをとっている。

「簡単ないくつかの方法で栄養不良を解決し、何百万人という子どもたちの生活を変えることができます」と、ユニセフ事務局長アン・ベネマン氏は述べている。「出産後早い時期に授乳することと、**6**ヶ月間母乳だけで育てることで、毎年**5**歳未満児**100**万人あまりの死亡を防ぐことができます。」

生後**6**ヵ月たって栄養豊富な食品や強化補助食品をとり入れることで、**5**歳未満児死亡率をさらに**6**%を下げるができる。これらの方法の効果は、家庭レベルでの育児習慣、手洗いと衛生、保健サービスの利用などの改善によって、さらに強化される。

地域社会や家庭で栄養を強化した革新的な治療用インスタント食品（**RUTFs**）を利用すれば、子どもの栄養不良の有効な治療手段となり、**5**歳未満児死亡率の減少に役立つ。

子どもの重篤な急性栄養不良は、合併症さえなければ、その約**4**分の**3**は、プランピー・ナッツ（登録商標）と呼ばれるピーナッツをもとにしたペーストなどの**RUTFs**を使うことで家庭でも治療できる。

ベネマン氏は次のように述べている。「母子が健全な栄養状態にあることは、健康や学習、そして幸福の中心となるものです。栄養は、国家のしっかりした保健制度に裏付けられ、地域社会に根ざした保健サービスの不可欠な部分となるべきです。」

【資料提供：(財)日本ユニセフ協会】

\* 世界食料デー：1979年の第**20**回FAO（国連食糧農業機関）総会の決議に基づき、**1981**年から世界共通の日として制定。世界の一人一人が協力しあい、最も重要な基本的人権である「すべての人に食料を」を現実のものにし、世界に広がる栄養不良、飢餓、極度の貧困を解決していくことを目的としている。

今年のハンド・イン・ハンドのテーマは「栄養が握る、子どもの未来」です

佐賀県支部では別紙ご案内の通り計画しています。たくさんの皆様のご参加をお願いします。

# 世界の子どもたちは、今

## <パラグアイ>

～水不足に悩む村に雨とユニセフがもたらす「安全な水」～

[2007年11月12日 パラグアイ・ナザレス発]



© UNICEF video

パラグアイの半乾燥地域に住む人々は、特に乾季は、この写真の子のように、村から遠く離れた水源まで長時間歩いて、水を汲んでこなくてはなりません。そうして得られる水も、おおくは、飲料に適さない汚れた水なのです。



- ・面積  
40万6,752平方km  
(日本の約1.1倍)
  - ・人口  
600万人  
(2006年 世銀)
  - ・首都  
アスンシオン  
(人口約50万人)
- 以上、外務省HPより

パラグアイの半乾燥地域にある多くの村々と同じように、ナザレスにも、雨季の11月から3月までは雨が降り続きます。この時期は、安全な飲み水がたっぷりと確保できます。

しかし、雨季の時期が終わってしまうと、村人たちは、遠く離れた水源まで長時間歩いて水を汲みにいくか、あるいは、汚染されている可能性のある近所の水溜りの水を利用しなければなりません。

ディグノ・ボガリンさんは、電気も水も通っていない質素な木造の一間しかない家に、妻と、5人の子どもと暮らし、家の横にある小さな畑で採れる作物で生計を立てています。世界中の26億人を超える数の人々と同様、ボガリンさん一家も、トイレすらない生活を強いられています。

### 不衛生な飲料水から発生する病気

「この村の一番の問題は、飲み水と病気です」。重度の下痢性疾患で子どもを亡くしたことがあるボガリンさんは、さらに続けます。「十分な水がないので、とても心配です。かつて、薬品を使って水をきれいにする方法を教えてくれた人たちがいました。でも今は、その薬品も手に入りません。だから私たちは、汚い水を飲むしかないのです。それで病気になってしまうのです。」

ボガリンさんの子どもたちは、毎日何時間も歩いて、池まで水を汲みにいきます。その池には、様々な動物も水を飲みに来ます。この水を飲んで、子どもたちは、よく病気になってしまいます。これは、この地域の多くの人々がかかえている問題です。

## 飲料水の貯蔵という解決法



© UNICEF video

一年を通して安全な飲料水を提供できるように、ユニセフ・パラグライ事務所は、雨水を貯蓄する装置を提供しました。

ユニセフは、子どもたちの命を奪っているこの問題を解決するために、この地域に、雨季の間に貯めた水を、乾季に利用できるようにする簡単なシステムを提供しました。

屋根や樋（とい）に落ちた雨水を、長いパイプで一箇所に集め、地下に掘った井戸に貯められます。貯められた水は、簡単な手動式ポンプで、必要な時に汲み出されます。ユニセフは、これまでに、このシステムを20箇所に設置。現在、パラグアイ政府と協力し、他の地域への設置も進めています。

## 幼い子どもたちの命の問題を最優先に

「ユニセフは、子どもの権利を実現するために働いています。先住民族の子どもたちは、往々にして、社会的に弱い立場におかれる傾向があります。」 ユニセフ・パラグアイ事務所のアナ・ラモス事業補佐官は語ります。「ユニセフ・パラグアイ事務所は、様々な支援活動の中で、特に、子どもの出生直後の健康問題を重視しています。わたしたちは、全ての子どもたちが、安心してきれいな水を利用し、良好な栄養状態を保ち、設備の整った保健サービスを利用できるようになることを目指しています。」

世界中で、1億人以上の人々が、安全でない貯水水源の水を利用しています。その結果、毎日、何千人もの子どもたちが、下痢や感染症で命を落としています。

パラグアイでユニセフが提供している雨水の収集・貯蔵を通じた飲料水供給システムは、人々の命を守るだけでなく、パラグアイの人々に、持続可能な開発や教育問題のような、他の重要な課題についても考える機会を提供しています。そしてこれは、今後、パラグアイの人々、特に子どもたちが置かれている状況を改善してゆくために、欠かせない過程なのです。

【資料提供：(財)日本ユニセフ協会】

## Let ' s unicef

### ユニセフと環境問題

### 瀧川 一平さん

(佐賀大学農学部・さがeクラブ代表)

先日、私たちは佐賀大学で環境活動を目的とした同好会を結成いたしました。一見すると、環境問題とユニセフとは何の関係もなさそうに見えるかもしれませんが、しかし、不衛生な飲料水による感染症の拡大、砂漠化が招く飢餓人口の増加などといった問題は、環境問題とも深く関わっています。医療・教育・経済などさまざまな視野から捉えていくことが、環境問題の解決・改善につながるということもあるのではないのでしょうか。例えば、安全な水を供給する井戸の設置や教育の普及など、ユニセフの支援活動が環境を改善するきっかけになることもあります。ユニセフでの活動を通じ、多角的な視点から環境問題などについて捉え、学んでいく場を仲間と作っていければと、私は考えています。





# かつどう ほうこく

◎ 10月5日（金）～7日（日） 第29回佐賀大学医学部むつごろう祭にてユニセフパネル展



佐賀大学鍋島キャンパスでおこなわれた学園祭において、學術の皆さんがユニセフパネル展をしました。

◎ 10月14日（日）ユニセフ・ボランティア講座<1> アバンセ4階OA講習室（佐賀市どん3の森）

I. ビデオ「ユニセフと地球のともだち」

II. ワークショップ「インドの紙袋作り」

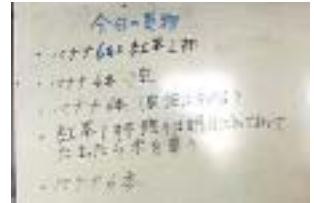
III. 「ユニセフってなんぼしよっと？ボランティアってなんぼすつと？」

◆ 大学や専門学校の学生さんの参加が多く、ユニセフの活動や佐賀県支部ボランティアの活動について楽しく話し合いました。

◆ 「インドの紙袋作り」

「8時間、休みなくこの紙袋作りをして、一体どれだけのものが買えるでしょうか？」

カルカッタの子どもたちの気持ちを考えながら、紙袋を作ってみました。



さあ、紙袋を作ろう！ 熱が入って立ち上がって作業をするグループもありました。 1日8時間休みなく働いて買える今日の買い物は？

## 参加者のアンケートより

- ★ 実は「ユニセフ」についてこれまでは「名前」は聞いたことがあっても「内容」を本当の意味では知らなくて、今回大変いい経験になりました。私も何かできることがあれば是非させてください。
- ★ 日本にいてなかなか見ることができない外国の現状がパワーポイントの説明でより知ることができ、少しでも力になりたいという思いが大きくなりました。ぜひ、私の学校でもやりたいです。
- ★ 実際にインドで子どもたちが行っている紙袋作りを体験してみて、これを8時間も続けるのは無理だ！と感じた。また、稼いだお金で何を買うか考えることで、本当に自分がその立場におかれているように感じ、貴重な体験ができた。以前、マザー・テレサが、ある貧しい家族に1kgの米を与えたのですが、その家族（妻）がその米を持って出て行ったそうです。マザー・テレサは、何をしているんだろうと疑ったのですが、その妻は隣の人も同じように貧しく食べるものがないので分け与えたそうです。そんな話を思い出し、私にもその妻のようにできるだろうか…と思いながらワークショップをした。参加できてよかった…。
- ★ オードリー・ヘップバーンがユニセフの親善大使だったのは知っていましたが、彼女が口ずさんでいた



という「年をとると、人は自分の手がふたつあることに気づきます。ひとつの手は、自分自身を助けるため、もうひとつの手は他者を助けるために。」という言葉は初めて知りました。とてもいい言葉なのでメモしました。私ももうひとつの手を誰かのために役立てることができるだろうかと今考えています。

◎ 10月23日（火） 佐賀清和中学校募金贈呈 事務所にて



佐賀清和中学校ユニセフ実行委員会のみなさんは、9月5日、6日の文化祭で「ONE FOR ALL, ALL FOR ONE」のテーマのもとにユニセフ募金活動に取り組みました。ユニセフのパネルやビデオ、パンフレット、チラシ等で全校の皆さんや保護者の方々にユニセフへの理解と協力をお願いしました。皆さまからご協力いただいた**53,009**円の募金を「学校に行けない子どもたちや、厳しい生活の中で頑張っている子どもたちのために役立ててください。」と代表の方と担当の先生が事務所までお届けくださいました。

**実行委員のお話**

- ★ 学校に行きたくても行けなくて勉強ができない子どもたちがいることを知り、かわいそうだなと思った。カカオの農場で働いている子どもたちは、カカオがチョコレートの原料になることを知らないし、チョコレートの味も知らないし、かわいそうだなと思った。
- ★ 募金活動をしていて、100円とか10円とか私たちがふだん何気なく使っているお金で救える命がたくさんあることを知り、これは素晴らしいことだと思った。パンフレットを渡してももらってくれる人が少ないときは、もっとみんなに関心を持ってもらえるようにしなくてはと思った。

◎ 10月27日（土）～28日（日） ユニセフパネル展、活動紹介&グッズ頒布



2007アバンセ・フェスタ会場にて（佐賀市どん3の森）  
「まなびいひろば2007～創ろう・つなごう・まなびの場～」の一環として「2007アバンセ・フェスタ」が開催され、多くの方々が種々の催しを楽しまれました。CSO活動紹介コーナーにおいて、掲示物やスライドショーでユニセフや支部の活動を紹介したり、グッズの頒布をしたりしました。

◎ 11月11日（日）

- ◆ 「かたりべの里本庄祭」会場においてユニセフグッズ頒布&ミニバザー（佐賀市本庄小学校）
- ◆ 「はあとふる ひだまりコンサート2007」会場においてユニセフグッズ頒布（鹿島市民会館エイブル）  
「はあとふる ひだまりコンサート」は「障がい」を持った子どもたちの音楽活動発表の場で、佐賀県支部も名義後援で応援させていただいています。今回初めてロビーでユニセフグッズの紹介をしました。
- ◆ バプテスト佐賀教会においてユニセフグッズ頒布&ミニバザー（佐賀市バプテスト教会）



バプテスト佐賀教会では1993年の佐賀友の会（佐賀県支部の前身）設立準備年以來15年間にもわたってユニセフのグッズ頒布にご協力をいただいています。皆さま、ユニセフのクリスマスカードやギフトを毎年楽しみに待ってくださっています。

- ◆ 「イオン イエローシート」キャンペーン（佐賀市ジャスコ佐賀大和店）

◎ 11月18日（日）ユニセフ・ボランティア講座＜2＞ アバンセ4階OA講習室（佐賀市どん3の森）

- I. 「命をくれる水、命をうばう水」
- II. メジナ虫病って？
- III. スペシャル・ドリンクを作ろう



スペシャル・ドリンクを作ってみよう

この水はどこの水？



有明海・筑後川・水道水・鹿島の湧き水？それともクリーク……？  
味みをする訳にはいきませんが、透明度・におい・浮遊物・沈殿物  
などをよく見て「きき酒」ならぬ「きき水」大会をしました。8種  
類のうち3種類正答が最高得点でした。

「安全な水を見極めるのは難しい！」との声も聞こえました。

参加者のアンケートより

- ◆ 「湯水の如く使う」と無駄遣いを現す言葉として、日本では表現されることがありますが、一方で安全な水を利用することができない国や地域もあることを知りました。
- ◆ 世界の水に関する現状について知ることができてよかったです。映像・パワーポイントを使った説明はとても分かりやすく身近に感じることができました。衛生状態が整っていないことから起こってくる病気などを知ることができてよかったです。スタッフの方がとても温かくて、また来たくなるような雰囲気でもよかったです。
- ◆ スペシャル・ドリンクの試飲など実際に体験できたこと。時にこういう講座の場合、どうしても外国の話が中心になり体験の場が少ないので、少しでも体験ができたことはよかったです。
- ◆ メジナ虫の話は始めて聞くことで、成虫になって体から出てくる画像にビックリしました。体の痛みだけではなく仕事ができないために経済的な痛みも伴うと聞いて「水」は健康面だけでなく人々の経済的な暮らしにも深くかかわるものだということを知りました。やはり、「水」は何よりも大事なものだ改めて気づかされました。

◎ 11月19日（月）成瀬中学校募金贈呈式

（事務所）



成瀬中学校では色々な募金活動に取り組んでいますが、5月の生徒総会で昨年取り組んだ「ユニセフ募金活動」に今年も取り組むかどうか提案され、過半数が「続ける」という事に賛成しました。それを受けて自治厚生部の皆さんを中心に11月の学芸発表会会場でユニセフ支援のためのバザーを開きました。また、総合学習で「ユニセフ」を課題にした4人の皆さんのプレゼンテーションが審査の結果選ばれて全体会場で発表されました。本日はバザーの売上金 60,000 円をユニセフ募金として代表の方が事務所まで届けてくださいました。

### 自治厚生部長：丸井さん（3年生）のお話

- ◆ 「ユニセフ」を調べていくうちに、貧しさのなかで様々な困難な状況下にある子どもたちがこんなにたくさんいるんだということを改めて知った。私が私立の中学校に行けているということは幸せなことだと気づいた。毎日を大切にしなければならないと思った。
- ◆ 保護者の皆さんから思った以上の高価なものをバザーにたくさん提供していただいた。世界の子どもたちのことを思ってくださいるすごく優しい保護者がたくさんいらっしゃることを知ってうれしく思った。

◎11月24日（土）～25日（日）第9回佐賀大学祭にてユニセフパネル展



佐賀大学本庄キャンパスでおこなわれた大学祭において、農学部の皆さんがユニセフパネル展をしました。「識字の大切さ～それが命にかかわるとき～」コーナーを設け来場者に体験活動をしてもらいました。

## ご支援・ご協力ありがとうございました

東与賀中学校様 ローソン佐大前店様 村岡屋高伝寺前ギャラリー様 佐賀歯科衛生専門学校様  
清和中学校様 成瀬中学校様

ワークステーションSAGA様 佐賀リハビリテーション病院様 雇用能力開発機構佐賀センター様  
エコプラザ様 佐賀市役所給付係様 佐賀市役所国保二係様 大塚製薬株式会社佐賀工場様  
松尾建設様 カイセ薬局荒江店様 中央クリニック様 杉の子文庫様 三日月小学校様 豆田商店様  
うめづ歯科様 パプテスト佐賀教会様 本庄公民館様 V i V i D会様 ジャスコ佐賀大和店様

（2007年9月16日～11月23日）

\* 色々な形でのご支援ご協力を感謝申し上げます。個人のみなさまからもたくさんのご支援を頂いていますが、平成17年4月1日からの「個人情報の保護に関する法律」施行に伴い、個人の方のお名前の掲載は控えさせていただきます。

### これからの予定



- 12月2日（日） さが国際交流・協力フェスタ2007（アバンセ）  
ユニセフ・ボランティア講座③ 詳しくは同封のチラシをご覧ください。
- 12月4日（火） ユニセフ出前授業（平戸市立野子中学校）
- 12月8日（土） ユニセフパネル・グッズ展「一枚のカードで守る 子どものいのち」（佐賀玉屋南館）
- 12月8日（土） 佐賀県「ふれあい人権フェスタ2007」パネル展（佐賀市文化会館）
- 12月12日（水） ユニセフ出前授業（小城市立三日月小学校）
- 12月16日（日） 第29回ユニセフハンド・イン・ハンド ユニセフ・ボランティア講座④

# 日本ユニセフ協会会員募集



©UNICEF

日本ユニセフ協会佐賀県支部では会員を募集しています。(県外の方もOKです)  
会員として、世界の子どもたちのために、応援して下さいますか？

## Q. 会員ってなあに？

A. 世界の子どもたちを支援する日本ユニセフ協会を、会費によってご支援いただく方法です。会員登録をしていただき、ユニセフの機関紙やさまざまなユニセフの資料を通じて、世界の子どもたちのおかれている状況について理解を深めていただくことができます。また、佐賀県支部の活動情報を入手し、会員としてさまざまなイベントにご参加いただけます。

## Q. 会費の種類は？

A. 3種類あります。

- ① 一般会員…個人ならどなたでも入会できます。年会費は5,000円です。
- ② 学生会員…18歳以上の学生の方が対象です。年会費は2,000円です。  
\*18歳未満の方は「ユニセフ子どもネット」にご参加ください。
- ③ 団体会員…団体、法人、企業などが対象です。年会費は100,000円です。

## Q. 会員の期間は？

A. ①の一般会員と②の学生会員は、入会月から1年間です。  
③の団体会員は、毎年4月から翌年3月までの1年間です。

## Q. 問合せ先は？

A. お問合せは下記事務所までお願いします。



(財)日本ユニセフ協会佐賀県支部 (佐賀市水ヶ江4-2-2)

電話&ファックス 0952-28-2077

(お電話の方は、月・火・木の10時から15時までの間にお願いします)

e-mail unicef-saga@ams.odn.ne.jp